

令和6年能登半島の支援活動を通して寄り添う支援を考える ～声を上げにくいご本人の支援のために、私たちが平時から考えておきたいこと～

1. 目的

令和6年1月1日に発生した能登半島地震に続き、9月の能登豪雨では記録的な大雨により、被災地の苦境にさらなる追い打ちをかけました。この間、本県からは関係者による能登半島への福祉的支援が継続的に行われています。

被災地の支援のうち、とりわけ障害のある方への支援は、ご本人の意思表示が難しい状況がある中で、被災後の生活不安等をできるだけ解消し、個々に寄り添った支援が必要となりますが、福祉関係団体が長期的な支援を行うにあたっての拠点の確保や、支援者間の情報共有の方法などの課題への対応が求められてきます。

本研修会では、能登半島地震に伴う支援の課題について、現地で支援活動を行った本県の関係者から学び、本県の災害時における福祉支援について考え、備えることを目的に開催します。

2. 主催・共催 主催 社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会 第2種・第3種正会員連絡会
共催 社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会 施設部会障害福祉施設協議会
施設部会社会就労センター協議会
神奈川県知的障害施設団体連合会

3. 対象 主催・共催団体の構成会員施設・事業所・団体

4. 定員・参加費 120名・無料

5. 日程・会場 令和6年11月28日(木) 14:00～16:30 ※受付開始13:30より
神奈川県社会福祉センター3階 301-303 ※会場地図は次ページ参照

6. プログラム

| 時間 | 内容 |
|---------------------|---|
| 13:30 | 受付開始 |
| 14:00 | 開会挨拶 |
| 14:05 ～ 16:25 | 発題① 災害時の支援から、ご本人の寄り添い型支援の原点を考える ～石川県1.5次避難所、2次避難所等での支援活動を通して～ －日本相談支援専門員協会代表理事 富岡貴生氏 ((福) 唐池学園 貴志園園長) 発題② 石川県への応援職員派遣事業から見たこと ～輪島市、能登町の障害福祉事業所、能登町の仮設住宅での支援活動を通して～ －神奈川県知的障害施設団体連合会 会長 出縄守英氏 ((福) 進和学園理事長、県社協施設部会長) " 防災対策委員長 森下浩明氏 ((福) みなと舎理事長) " 総務委員長 近藤誠氏 ((福) 県央福祉会常務理事) －県内からの応援派遣職員 (2名・調整中) 質疑応答、意見交換 |
| 16:25 | 閉会挨拶 |
| 16:30 | 閉会・アンケート記入 |

7. 申込方法・申込締切

以下、申込フォームよりお申込みください。

【申込フォーム】 <https://forms.gle/T3Xwt5cyGFTskLFG7>

【申込締切】 **令和6年11月22日（金）午後5時**



申込フォーム
二次元コード

※個人情報の取扱いについて

- ・個人情報の利用目的
本研修事業にあたり、研修講師に情報提供を行うなど申込書に記載された個人情報を利用します。
- ・プライバシーポリシー
本会個人情報保護方針（プライバシーポリシー）は本会ホームページ（<https://www.knsyk.jp/>）で閲覧できます。

8. 研修の中止と周知

台風等の天候の影響により、急遽、研修を中止する場合は、原則、神奈川県社会福祉協議会ホームページ（<https://www.knsyk.jp/>）に掲載いたします。中止をする場合、前日から当日の午前中にかけて、順次ご案内いたしますので、ご確認ください。

9. 研修動画の配信

本研修会の動画を、後日、共催団体の構成会員施設等に配信いたします。

配信方法：動画共有サイト（YoutubeのURL非公開設定）による配信。構成会員施設等には、各団体事務局を通じてメールにてご案内いたします。

配信期間：令和7年1月から3月を予定。

10. 問合せ先

社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会 総務企画部企画課

〒221-0825 横浜市神奈川区反町3-17-2

TEL：045-534-3866 E-mail：kikaku@knsyk.jp

※メールでのお問合せの際は、件名に「共催研修の件」と明記の上、送信ください。

【会場案内図】



アクセス

- ・東急東横線「反町駅」より徒歩1分
- ・京浜急行本線「神奈川駅」より徒歩7分
- ・京浜東北線・横浜線「東神奈川駅」より徒歩12分

<https://maps.app.goo.gl/z2rvuzadDgfcu77b7>